

大阪湾沿岸

海岸保全施設整備計画 18

ゾ ー ン 名	男里川～箱作ゾーン	エ リ ア 特 性	環境保全・親しみエリア
海 岸 名	阪南市	区 域	福島
海 岸 タ イ プ	直立堤防、砂浜	所 管	国土交通省（河川局）
設計高潮位（H.H.W.L）	T.P.+3.0m	波 高 （ H o ）	2.9m
代 表 堤 防 高	T.P.+4.70m	現 況 の 堤 防 高	T.P.+4.70m
現 況 の 施 設	堤防 760m、離岸堤 4 基、突堤 7 基		
海 岸 の 整 備 方 針	・防護機能の確保・環境の保全・魅力ある景観の創出・海岸利用の促進		
海 岸 の 目 標	海 岸 の 防 護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堤防の耐震性の強化対策を必要に応じて講じる。</li> <li>・侵食に対する海岸全体の長期的な保全対策を講じる。</li> <li>・環境や利用面にも配慮した面的防護方式の採用を検討する。</li> </ul>	
	環 境 の 整 備 と 保 全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多種多様な生物の生息地である、貴重な男里川河口干潟の保全に努める。</li> <li>・貴重な生態系の保全に努める。</li> <li>・自然景観の保全・創出に努める。</li> </ul>	
	公 衆 の 適 正 な 利 用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の行事や活動などに利用できる海岸づくりを進める。</li> <li>・海の体験や自然観察や環境学習などができる自然豊かな海岸づくりを進める。</li> <li>・多くの人達が海辺と親しむことができるよう、安全で快適なアクセス路の確保やバリアフリー化を進める。</li> </ul>	
整 備 の 必 要 性	<p>堤防の耐震性の強化対策を必要に応じて講じる必要がある。また、海岸全体の長期的な侵食防止を図るとともに、干潟とともに多様な生物が生息でき、自然浄化力が発揮できるような機能や、海辺へのアクセス機能の高い堤防への改良が必要である。</p>		
整 備 計 画 の 概 要	<p>堤防の改良、潜堤、養浜により、必要に応じた耐震性の強化と長期的な侵食防止を図るとともに、生物の生息場確保、海岸景観の向上、海辺へのアクセス性と親水性向上を図るものとする。また、現状の干潟、砂浜については保全していくものとする。</p> <p>(1) 整備海岸延長 : 760m</p> <p>(2) 整備内容 : 堤防（改良） 潜堤、養浜</p>		
住 民 意 見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海浜植物、野鳥など多種多様な生物の生息空間としての自然干潟の保全</li> <li>・自然環境の復元</li> <li>・海への眺望の確保</li> </ul>		
期 待 さ れ る 効 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堤防の改良や耐震性強化などにより、高潮や侵食などから背後地の安全性の向上が図られるとともに、貴重な自然や背後地の侵食からの保全機能が向上する。</li> <li>・また、生態系の保護が図られるとともに、アメニティ豊かな水辺空間が創出される</li> <li>・海岸景観の向上が図られる。</li> <li>・安全で快適なアクセス路の確保やバリアフリー化により海への親しみが増す。</li> </ul>		
海 岸 管 理 に お け る 配 慮 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海岸保全施設の適切な維持管理や、高潮や津波などによる災害時の対応などソフト面の対策強化の推進</li> <li>・ゴミなどの不法投棄、汚損などの防止対策の推進</li> <li>・地域との協力による環境維持の推進</li> <li>・海岸利用者のためのマナー向上のための啓発活動の推進</li> <li>・海岸利用のルールづくりの推進</li> <li>・海岸愛護、ボランティア活動の支援</li> </ul>		

【現況写真】



【平面図】

<凡 例>

- 海岸保全施設の新設に関する工事を施工しようとする区域
- 既設の海岸保全施設の存する区域
- 既設の海岸保全施設の改良に関する工事を施工しようとする区域

